



No.215

令和6年8月1日発行

滑 川 市 議 会

☎ (076) 475-2120

E-mail: gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校卒業生 桃井優希さんの作品)



6月18日、田中小学校6年生が議会の傍聴に訪れました。

(詳細は10、11ページをご覧ください)

令和6年6月定例会一覧

令和6年6月定例会一覧							
○委員会				○本会議(主な内容)			
6月10日・18日・24日				開会 6月10日			
議会運営委員会				閉会 6月24日			
総務文教消防委員会				会期15日間			
産業厚生建設委員会				6月10日 会期の決定			
20日				提案理由説明			
19日				補足説明			
議員派遣				代表質問・一般質問			
閉会中の継続審査				17日			
24日				一般質問			
議員長報告・質疑・討論・採決				議案の委員会付託			
議員提出議案				24日			
提案理由説明・質疑・討論・採決				議員提出議案			
議決結果				予 算 (原案可決)			
条 例 (原案可決)				6 件			
そ の 他 (原案可決)				4 件			
そ の 他 (原案承認)				1 件			
議員提出 (原案可決)				1 件			
議員提出 (原案否決)				1 件			
合 計				14 件			

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。



なめりかわ 市議会だより

◆令和6年6月定例会

令和6年度一般会計補正予算（第1号）

（4億3,316万8千円）

を含む、市長提出議案11議案を可決・承認

6月定例会

本会議

◇6月10日に本会議を開き、まず会期を24日までの15日間と決めた後に、令和6年度一般会計補正予算及び条例等の市長提出議案11件及び報告4件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長等から議案の補足説明がありました。

◇17日、18日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の24日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長からそれぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案11件については一括採決の結果、各常任委員会の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

その後、議員提出議案2件の提案理由説明がありました。

採決の結果、議員提出議案第3号については賛成全員で可決され、議員提出議案第4号については賛成少数で否決されました。

最後に議員派遣について議決し、閉会中の継続審査を決定して、6月定例会を閉会といたしました。

常任委員会での審査 （主な質疑等）

各常任委員会への付託案件はP12をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された6議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和6年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

問 防災対策推進費について、指定避難所スマートフォンロック式キーボックスや避難所開設ボックスは、どうい

ったものを何箇所に設置するのか。

答 民間の保育所等を除く24箇所の避難所に、暗証番号により開閉が可能となるスマートフォンロック式のプラスチック製キーボックスを設置することを考えている。44箇所全ての避難所に設置する避難所開設ボックスには避難所運営ブック・従事者用ベスト・ラジオ・ランタン・拡声器などを入れる予定だが、その数量については避難所の収容人数など規模に応じて調整することとしたい。

☆滑川市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 特殊勤務手当の、災害応急作業等手当額について

答 地方公務員法に定められている均衡の原則を運用していくにあたり、国家公務員の手当の額に準じたものであるが、日額680円のみ県が人事委員会において算出された額を採用した。魚津市と黒部市も同様であり、均衡の原則に基づき近隣自治体とのバランスをとったものである。

産業厚生建設委員会

付託された7議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和6年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

問 河川改良費の工事の詳細はどのようなになっているか。

答 まず、魚躬地内の水路については、現在、工場や鉄道の敷地を通っており管理が困難になっている部分について、直線的に水路を付け替えるもので、施工延長は約150メートルである。また、上小泉地内の伝五郎川については、河床が洗掘しているため改修を行うもので、施工延長は約50メートルである。

問 「富富富」の乾燥調製施設に対する補助事業は、いつの収穫のものから対象となるのか。

答 令和6年度中に施設の整備を行い、令和7年秋の収穫分から対象となる。

日誌

6年5月

7月

10日 定例議員協議会

4日 沖田川中流域治水対策

18日 東京滑川会総会・懇親会

6日 関西滑川会総会・懇親会

21日 富山県選出国会議員との

8日 富山県日韓友好議員連盟

懇談会（東京都）

総会（富山市）

22日 北陸新幹線建設促進大会・

10日 議会運営委員会協議会

同盟会総会（東京都）

定例議員協議会

24日 富山県日韓友好議員連盟

12日 富山県日台友好議員連盟

理事会（富山市）

理事会・総会（富山市）

30日 北朝鮮に拉致された

16日 朝日滑川間国道・バイパス

日本人を早期に救出する

建設促進期成同盟会総会

富山県地方議員連盟

東部山麓道路建設促進

理事会（富山市）

期成同盟会総会（魚津市）

6月

北アルプス横断道路構想

3日 議会運営委員会

推進会議総会（魚津市）

5日 定例議員協議会

議会報編集委員会

10～24日 6月定例会

神奈川県寒川町より

24日 議会報編集委員会

行政視察

27日 富山県東部消防組合議会

富山高山連絡道路整備

6月臨時会（魚津市）

促進期成同盟会総会

6月臨時会（魚津市）

促進期成同盟会総会

6月臨時会（魚津市）

促進期成同盟会総会

6月臨時会（魚津市）

促進期成同盟会総会

6月臨時会（魚津市）

促進期成同盟会総会

一代表質問

6月定例会では11名の議員が質問を行い、44項目について市当局の見解を求めました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。でご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、また、ご利用ください。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



- 1 6月定例会補正予算について
- 2 重点事業要望について
- 3 子育てしやすいまちづくりについて

(会派＝志真会) 青山幸生 議員



Q SDGs普及啓発についての具体的な実施方法は何か。

A 水野市長 今回のSDGs普及啓発に関する費用は、市民等のSDGsに関する意識啓発を目的としたイベントの開催に関するものと、企業等によるSDGs宣言文の作成支援に関するものである。内容は、座学でのセミナーやカードゲームを活用したワークショップの開催。企業によるSDGs宣言では、企業の作成の支援をし、市のホームページに掲載する。

Q 「富富富」種もみ購入に際して補助した場合に、幾ら補助し、平均的な農家は幾ら程度助かるのか。

A 黒川産業民生部長 高温対策栽培転換支援事業は種もみ購入費の全額を助成し、高温に強い特性を持つ富富富への転換を促すもので、補助単価については、6年産用種もみの価格1キロ当たり620円を想定している。例えば1ヘクタール作付した場合、2万円程度の助成となる見込みである。

Q 旧タラソピア解体に係る設計業務において、設備関係を移動するだけならこのような高額になるとは考えられないが、次の施設運営

を含めての予算になるのか。

A 黒川産業民生部長 屋外消火栓用の非常用発電機やほたるいかミュージアムで水が不足した場合の給水システムなど、ほたるいかミュージアムと共用する設備が設置してあるほか、配管の切り回しが必要となる。また解体に際しアスベスト検査が必要になることを踏まえ、解体工事の設計にかかる費用も含めて積算した。次の施設運営のための予算は含んでいない。

Q 出生数が減少する中、より産み育てやすい滑川市であることが重要である。こども家庭センター、市民健康センター、子育て支援センターのサポート体制は万全か。

A 上田教育長 本年4月に開設したこども家庭センターでは、多職種の専門職が対応することにより、相談件数も大変増えている。市民健康センターでは、母子手帳の交付、検診、予防接種等を実施しており、こども家庭センターへつながっている。子育て支援センターは、同年代のお子さんを育てている保護者同士が交流を持てるよう支援している。互いに連携しながら子育て家庭を支援している。

代表質問



- 1 SDGs未来都市について
- 2 災害に対する備えについて
- 3 行田公園の管理、整備について

(会派＝会派自民) 原明 議員



Q SDGs未来都市に選定されたことによる、2030年度までの目標達成に向けた各種事業の取組スケジュールと、市民への周知をどのように進めていくのかを問う。

A 水野市長 市民への周知としては、本市がSDGs未来都市に選定されたことをはじめ、今後の目指す方向性について広報7月号に特集し、市民の皆様にお知らせすることになっている。普及啓発イベントの開催や企業等に対するSDGs宣言文の作成支援について、ホームページやSNS等での情報発信を通じて積極的に周知したい。

Q 能登半島地震での避難所の開設や運営、避難行動など、多くの課題への対応策を収集するために、職員、市民の皆さんにアンケート調査を実施したが、その結果はいつ頃どのように報告されるのか。

A 水野市長 インターネットによるアンケートでは、防災知識の普及や防災意識の向上、市民への情報提供や避難所の開設・運営に対する改善、沿岸部における避難行動の支援など、様々なニーズや課題が明らかになった。結果については7月広報に掲載する。

Q 防災パンフレットの作成、災害への対策を急ぐとのことだがいつ頃になるのか。

A 水野市長 全戸配布を予定している防災パンフレットは、今後の各種マニュアルや地域防災計画の改定を踏まえ、今年秋頃の配布を目指したい。

Q 行田公園内の旧児童館跡地、園路や水路、トイレ、芝生広場の管理や補修、改修工事は計画的に進めることが必要だと感じるが、見解を問う。

A 岩城建設部長 行田公園は昭和39年に供用開始以来、今年で60年経過する公園である。旧児童館跡地にあるSLの小屋や園路、階段など、老朽化してきた施設もあり、計画的に補修や改修工事を進める必要があると認識している。本年度は、公園東側に設置されているトイレの改修工事のほか、運動場ステージ横から池へ向かう階段の改修工事、東しょうぶ園に設置されている照明施設の更新工事を実施することとしている。市内の公園施設の状況を踏まえ優先順位を決め、計画的に公園施設の改修を行っていく。

一般質問



- 1 滑川市におけるゼロカーボンシティ宣言について
- 2 市内における生活道路・通学路について

谷崎潤 一 議員



Q 第3次滑川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に書かれた計画などの実施状況と課題は。

A 石川総務部長 昨年、今年度の2か年で作成している滑川市地球温暖化対策実行計画において、具体的な施策の検討を進めている。冷暖房などの燃料使用量の削減による省エネルギー対策の推進などの取組項目を掲げており、令和3年度においては、基準年度である平成25年度と比較して温室効果ガス排出量は27・8%の削減となっている。今後、取組内容を拡充していく必要があると考えている。

Q 再生可能エネルギーを使った発電事業を公民連携で実施したいと地元企業から申し出があれば、どのような対応をするのか。

A 石川総務部長 再生可能エネルギーの導入については、行政が単独で実施するのは困難が多く、民間と共同で事業を実施することは大変有効な手段であると考えている。具体的な連携方法や内容については多岐にわたるため、案件ごとの判断になるかと思うが、申し出があれば丁寧に対応したい。

Q 生活道路やスクールゾーンの交通安全対策の重点地域に対して、多くの方々に認知しやすくするために標識や白線を標示して、子どもたちの交通安全を図る取組を行う自治体が多く見受けられる。市内における主なスクールゾーン設置状況について問う。

A 上田教育委員会事務局長 現在7校全ての小学校区でスクールゾーンを設置しており、通行する車両等に注意喚起を促すための標識を設置するなどの交通安全対策を図っている。

Q 学校周辺など地域の子どもたちの交通安全を確保するためにゾーン30やゾーン30プラスを拡充する取組を今後検討できないか。

A 上田教育委員会事務局長 ゾーン30の設置状況は、市内には上梅沢地内の団地に1か所ある。このゾーン30は生活道路や通学路の交通安全に有効な手段の一つと考えることから、設置可能な区域があれば滑川警察署などの関係機関と設置に向けて協議したい。今後とも地域住民や学校、関係機関と連携を図り、子どもの安全を第一に考えた交通安全対策を進めたい。

その他の質問 農業用水路の維持について

一般質問



- 1 みのお温泉について
- 2 市内の公園の運営管理について
- 3 のるmy carについて

安達真隆 議員



Q 昨年12月定例会で質問した際には、みのお温泉は「来春の再開を目指す」と答弁があったが、現在の進捗を聞く。

A 水野市長 みのお温泉の温泉供給元である早月川温泉開発株式会社にすれば、ポンプ等の機器の調達や貯湯槽の整備なども含めて、温泉再開に向けて取り組むこととしていたが、1月の能登半島地震の発災を受け、改めてお湯が上がるかどうか調査する湯湯試験の実施が必要になったことのほか、施工予定業者が被災地支援に従事する必要が生じたことなどで、新年度に入り着工したところである。復旧工事は4月から着工して、6月末の完成に向けて順調に進捗している。7月1日からみのお温泉復活という形で報告させていた。

Q 温泉の料金はどのようになるか。

A 上田教育委員会事務局長 料金については本年3月定例会で滑川市みのおテニス村設置条例の一部を改正した。温泉が再開する7月1日には、改定後の新料金によって営業することとしている。

Q 市内公園の運営管理で、休憩施設の掃除などは誰がいつ行うことになっているのか。

A 岩城建設部長 市で管理している各公園の維持管理については、市内各造園業者に樹木選定や草花などの維持管理を委託しているほか、シルバー人材センターへ各公園内の確認や維持管理業務を委託しており、毎週月曜日から金曜日までのうち4日間巡回実施し、公園内に異変がないかの確認を行っている。

Q 8月から6便を5便に統合する中学生の下课時間に配慮した時刻改正を行うとのことだが、どのようなになっているのか。

A 黒川産業民生部長 新ダイヤについては、両中学校に本年度生徒の下课時刻を確認し、中学生の下课に配慮した新ダイヤとすることになっている。また、現行の栗山ルートでは早月中学校前を通らないことから、8月から早月中学校口停留所を経由するルートに変更するとともに、早月中学校口から中野島公民館口停留所の間を自由乗降区間にして、中学生や利用者の利便性の向上を図る。

一般質問



1 鳥害の現状と対策について
2 学校給食費について
3 学校教育について

吉森真人 議員



Qアオサギの被害について、自治会も何度も対策を講じてきたが解決に至っていない。大がかりな対策が必要と思われるが、市として獵友会などと協力して解決につなげられないのか。

A 黒川産業民生部長
社寺境内や

墓地、住居が集合している地域、多数の人が集まる場所では、銃による猟やわな猟が禁止となっていることから、平野部の地域において捕獲が困難な状況が多くあり、市としても大変困っている。それぞれの施設管理者で樹木を剪定いただくなど、鳥獣を寄せつけない環境づくりに努めていただきたい。

令和4、5年度と2年連続給食費を値上げし、令和3年度と比べて、本年4月開始時点では、39円から46円の値上げとなっている。

2年前と比べると児童・生徒一人当たり年間で8千円から9千円の負担増であり、値上げを行った年度の値上げ相当分を市が負担し、実質の家庭では次年度からの値上げとなっている。滑川市は全国でもかなり高い給食費となっており、今後はこれ以上の値上げを行わず、不足分を市で補うなどの検討はで

きないのか。

A 上田教育委員会事務局長

校給食会により調達している米飯パン、牛乳などの価格高騰が続いており先行きが不透明な状況である。引き続き、栄養バランスが取れた安全・安心な給食を提供できるように、メニューや食材選択、調理方法の工夫などに努めるとともに、原材料費の変動も見据えながら学校給食費の検討をしたい。

Q教科の枠にとらわれない総合的な学習であり、自発的に問題を見つけて学習する、主体性と対話性が重要視されたSTEAM教育を取り入れてはどうか。

A 上田教育長
本市においては

科学の時間というものがある。これは特別な教育課程で、市が独自に実施しているもので9年間の学びの中で自然観察、飼育・栽培、ものづくり、知識を深める学習・探求的な学習の4つの柱を設け、教科横断的な教育を通して、課題の発見・解決、社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成を図るものとしている。これは、STEAM教育に共通する点が多いと認識している。

一般質問



4 3 2 1
 軽自動車税の納税証明書の取扱いについて
 観光振興について
 小中学校における熱中症対策について
 ふるさと龍宮まつりの今後の展望について

竹原正人 議員



Q 今年のふるさと龍宮まつりの街流しについて、参加者の規模はどのようになっているのか。昨年までの実績と、今年度以降の取組について伺う。

A 水野市長

いては、市内の園児、児童クラブ、中学生については、昨年と同様である。昨年までの自治会連合会を通じての集約ではなく、当日現地に集合する形に変更した。今年は少しでも多くの方に気軽に参加していただけるよう、市内企業への参加呼びかけをはじめ、広報、折り込みチラシでの街流し参加案内や事前練習会の開催などを実施する予定である。

Q 猛暑日が多くなる季節に屋外等での授業や行事の見直しは考えていないのか伺う。

A 上田教育長
学校行事の見直し

については、今年度の運動会は例年よりも中学校は1週間、小学校は2週間程度遅らせて実施する。熱中症計で暑さ指数を測定して判断し、危険なときは室内での授業に変更する。また、室内でもエアコンが効いている部屋を探して実施するなどの対応をしている。

Q 外国人観光客の誘致に対する取組について具体的な内容を伺う。

A 水野市長
一般社団法人富山

湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会での取組として、台湾、シンガポールを訪問し、現地の旅行会社、メディア関係者へ向けPRを行ってきた。海外旅行博への出展をはじめ、海外インフルエンサーや旅行事業者等を招聘して、新川地域への誘客を促進するため、のファムトリップや、多言語のパンフレットの増刷を予定している。

Q 口座振替の場合、決済日が5月31日だと6月1日から数日間JNKSに反映されるまでのタイムラグが生じている現状について伺う。

A 石川総務部長

ータの反映は、市で口座振替の納付確認を行った翌日という形になるが、土・日等があった場合にはデータ反映が行えず、タイムラグが生じているのは事実である。今年度、JNKSに反映されたのは1日、2日の土・日を除き、3日にデータとして確認した上で、消し込みデータは4日に作成し、つながつたのは5日の日となった。

一般質問



3 2 1

富山地方鉄道の「運営形態」問題について
「非核」について
補聴器助成制度の拡充について

古沢利之 議員



Q 報道によると、富山地方鉄道の運営形態を考える協議会が立ち上げられ、2月と5月に会合が開かれたとのことだが、この問題について市長の見解を求める。

A 水野市長 富山地方鉄道の鉄道路線は、県東部の重要な路線である。地鉄と沿線7市町村の担当課長会議が2回開催された。今後、

首長会議も予定されており、沿線市町村の首長と議論していきたい。

Q 沿線自治体でも関わり方は様々であり、県が積極的に関わっていないと話がまとまらないのではないかと。住民にも情報が届くことが必要ではないか。

A 水野市長 7市町村で協議を進めていくが、首長には地鉄から直接話は聞いていない。7市町村、

思いは違うこともあると思うので、県主導でやっていたらいいと思う。情報も公開できる範囲で、

Q 来年は戦後80年、被爆80年の年である。本市は昭和63年6月に

「非核平和都市宣言」をし、平成28年4月に「日本非核宣言自治体協議会」に参加している。「非核」に対する見解を問う。

A 水野市長

核兵器の廃絶と戦争のない恒久平和は、世界中の人々の願いである。ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮や幾つかの国で核兵器開発の報道があるなど、誠に残念な状況だと思う。平和の重要性を確認し、国際協調と平和の実現を目指していくべきだと考える。

Q これまで節目となる年には、何らかの非核の事業を行ってきた。80周年の来年は計画するのか。

A 石川総務部長 被爆70周年、75周年には原爆被害の写真パネル展を開催した。来年度においても開催したい。

Q 昨年度から実施された加齢性難聴補聴器助成制度の申請、給付の状況はどうだったか。

A 石川健康福祉部長 昨年度は7

件の給付を行った。他に相談はあったが、要件を満たさず申請しなかった方が3名ほどおられた。

Q 最近のデジタル補聴器は高価であり、認知症との関わり合いは、ほぼ定説になっている。補助制度の拡充が必要ではないか。

A 石川健康福祉部長 小矢部市も

所得要件を改正された。他自治体の状況を勘案しながら検討したい。

一般質問



4 3 2 1

市役所の各課の配置等について
豪雨対策について
SDGs未来都市について
スポーツ振興について

高川正樹 議員



Q 4月の組織機構の変更に伴い、福祉課や農林課の配置場所が変更となったが、来庁される方々に不都合はないか。

A 石川総務部長 市役所に来られ

てから、「ここできなかったか」と言われるケースが多々あった。不都合な部分に対しては、東別館の正面入り口横のスロープが車椅子利用者にとって急であることなどが指摘されており、東別館南側、

旧噴水池側の傾斜の緩いスロープの利用を案内するとともに、今後、入り口近くに障がい者用等の駐車場の設置等を検討したい。

Q 昨年、富山県でも線状降水帯が発生した。ゲリラ豪雨も増えている。梅雨どきを前に豪雨対策はしっかりされているか。

A 岩城建設部長 近年の気候変動

の影響により、水災害が激甚化、頻発化しており、梅雨時期を迎える前に、関係者と協力しながら豪雨災害に備えておく必要がある。上市川、早月川、沖田川において、

重要水防箇所のパトロールや水防倉庫に備蓄されている資材の点検を河川管理者である県と合同で行った。また、市では中川放水路沿

いの水門の開閉作業に支障がないか確認を行うとともに、市道滑川中央線のアンダーパス部における冠水センサーの動作確認や排水ポンプのメンテナンスを終えている。

Q SDGs未来都市の選定において、予算が必要なものに対しては、今定例会で補正予算として計上されているが、予算をかけずにすぐにはできないような施策もあるのではないか。

A 水野市長 費用をかけずに実施

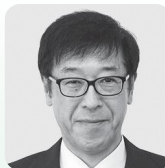
できる取組としては、SDGsの各ターゲットにつながるペーパレス化の推進、避難経路の再確認の必要性について広く周知すること、節電や節水の取組などがあり、

誰もが自分ごととして課題を捉え、身近なことから取り組んでいくことが肝心であるため、市民が広く参画できるよう内容を盛り込んで積極的に取り組むたい。

Q スケートボードを行える場所や設備の設置はできないか。

A 上田教育委員会事務局 場所や設備といったスケートボードの利用状況についての市民ニーズを把握できていないことから、まずその把握について行っていきたい。

一般質問



3 2 1

「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く」まちづくりについて
災害に強いまちづくりについて
学校教育の充実について

水橋 真治 議員



Q 市民起点、市民共創の理念を「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く滑川」を実現する政策を通して、理解し、考え、行動してもらうために、特に重視する政策は何か。

A 水野市長 市民との対話による開かれた市政運営が必要と考える。対話によるまちのデザイン、ビジョンを描き各種施策を展開したい。
Q 公民連携の手法を用いて、空き家が多く所在する旧町部エリアの活用に向けた準備を始めたところだが、その計画の策定と実際のまちづくりの予定を問う。

A 柿沢副市長 再生調査と基本計画の策定を踏まえ、民間投資の誘導、民間人材の発掘、育成に取り組む、一つずつ成果を出し、実際のまちづくりにつなげていきたい。
Q 大規模災害が発生したとき、自助、共助の連携による取組が重要となる。自主防災組織の力を高めるためどのような支援を行うのか。

A 石川総務部長 防災士連絡協議会と連携し、防災知識の普及啓発に取り組んでおり、今後も自主防災組織や町内会などへの支援を強化していきたい。

Q 市の「防災情報・避難所運営BOOK」にはペットと一緒に避難

できることや守るべきことが記載されているが、実際にペットと一緒に避難することは可能か。

A 石川総務部長 屋内飼育を含めた様々なニーズへの対応などに課題が生じている。ペット避難は、引き続き県や他自治体を参考にルールづくりも含めて進めたい。

Q 災害が発生した場合、市社会福祉協議会が、ボランティアの方をコーディネートし、被災者を支援することが一般化している。その際に、多様な情報の発信やマッチングを推進するために、アプリを効果的に活用してはどうか。

A 石川総務部長 アプリの活用は、事務負担軽減や業務効率化を図ることができ。しかし、導入費用や災害時の通信状況に左右されるケースがある。他の社会福祉協議会の活用状況を調査、研究したい。

Q 教育のデジタル化が進められているが、アナログ教育に回帰している国もある。デジタル教育の成果と課題を振り返り、今後どのように取り組んでいく予定か。

A 上田教育長 デジタルによる学習と直接的な体験活動や紙と鉛筆を使用した学習とのバランスの取れた教育活動の充実に努めたい。

一般質問



3 2 1

姉妹都市交流の充実について
ほたるいミュージアムのVRとARについて
堀江運動公園について

開田 晃江 議員



Q 地元物産品の交流について、具体的にどのように取り組んでいるのか伺う。

A 柿沢副市長 昨年度、滑川市開催の「すべらないグルメフェス」では小諸市や那須塩原市の職員の方に特産品の販売をしてもらい、また、北海道豊頃町の特産品を滑川高校の皆さんに販売してもらっている。滑川市からも、小諸市のワインイベントに出店し、ホテルイカなどの特産品を販売し、PRしたところである。

Q 地元特産品について、イベント時の販売だけでなく、年間を通じて販売が求められるのではないか。

A 柿沢副市長 イベント以外の特産品の販売については、現時点で相互販売までには至っていない。今後、姉妹都市の特産品販売事業者と市内の事業者が、双方で体制の構築に向け話し合える機会を設けるよう積極的に進めていきたい。

Q VRは1台しかないのに、同時に体験することができない。大人数で体験できるように設備の改修等を検討してはどうか。

A 黒川産業民生部長 VR機器が1台しかないため、最新技術であ

るVR体験を1回当たり1人しかできないことは課題である。ミュージアムの展示内容をリニューアルする際には、大人数での体験ができる施設も検討していきたい。

Q 今定例会でARも提案されているが、VRとARの違いは。

A 黒川産業民生部長 VRは仮想現実と呼ばれ、人の視覚、聴覚などを刺激し、一般的には専用のゴーグルを装着し、仮想世界を体験するものである。一方、ARは拡張現実と呼ばれ、スマートフォンやタブレット端末があれば簡単に体験できることが特徴である。ARは今後、ほたるいミュージアム内に設置し、タブレットを使用して実施することを考えている。

Q 堀江運動公園にバスケットボールの半面コートが設置されているが、フェンスの設置はできないか。

A 岩城建設部長 コートの周りにフェンスがないため、ボールが外に出て事故につながるおそれがあることは認識している。フェンスの設置を含め、環境を整備できないか総合的に検討していきたい。

・その他の質問 こども誰でも通園制度（仮称）について

一般質問



4 3 2 1

SDGs 未来都市の選定について
観光遊覧船キラリンの安全運航について
用水路の安全対策について
高齢者・交通弱者・観光客の移動手段
の向上について

中川 勲 議員



Q SDGs 未来都市に向けて具体的にどう進めるのか。

A 水野市長 SDGs 未来都市は経済、社会、環境の新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い地方公共団体を国が選定するものである。魅力ある仕事や雇用先を生み出す取組、地域の環境を守る取組、中心市街地の再生や空き家の解消などに積極的に取り組むたい。

Q 中心市街地の再生とあるが、どこをどう再生するのか。

A 石川総務部長 不動産オーナーの意識調査による活用可能な遊休不動産の状況や、投資を検討する民間事業者等の意見を踏まえ、事業設定エリアを検討する。

Q AR（拡張現実）を活用したホテルイカ漁の体験はいつ頃できるのか。

A 黒川産業民生部長 ほたるいカミュージアム内でタブレット等を活用して、例えばCGのホタルイカがナビゲートしながら、定置網の仕組みや環境に配慮した漁法であることを学べるものにしたいたい。実施時期は未定である。

Q 観光遊覧船キラリンの安全対策

はマニュアル化されているのか。

A 黒川産業民生部長 安全対策については、運輸局に届け出ている安全管理規定の事故処理基準に基づき、緊急時の初期動作手順や連絡体制をマニュアル化している。今年2月には、運輸局により安全管理体制が適切に構築され、適切に機能しているかの運輸安全マネジメント評価が実施され、結果、適切に運用されているという評価をいただいた。

Q 通学路や日常的に住民が通行する道路に面している用水路の安全対策はしているのか。

A 岩城建設部長 幹線農業用水路や、道路と水路の高低差が大きい箇所において、転落防止策の設置や水路の蓋がけを実施した。

Q 農業用水路の改修が行われている地域があるが、住民の意見は聞いているか。

A 岩城建設部長 農業施設に係る問合せは、建設課に伝えていただければ、土地改良区へ伝えたい。
Q まちなかを低速で走る自動運転バスの導入は考えられないか。

A 黒川産業民生部長 開発状況を見極めながら検討したい。

永年勤続議員表彰

第100回全国市議会議長会において、議員10年以上一般表彰として、尾崎照雄議員、竹原正人議員、青山幸生議員が表彰されました。

定例会初日の6月10日に、議場にて表彰状伝達が行われました。



議会改革度調査2023発表

毎年、早稲田大学マニフェスト研究所が実施している「議会改革度調査2023」において、滑川市議会が296位にランクされました。（昨年は215位）

情報共有、住民参画、機能強化の部門ごとに評価され、滑川市議会は情報共有部門で全国147位（県内3位）となっています。

下のQRコードから
Youtube 滑川市議会チャンネルに
アクセスできます！



田中小学校の6年生が 議会の傍聴に訪れました

6月18日、田中小学校の6年生29名が、社会の授業として、一般質問を傍聴しました。その感想をいくつか紹介します。

・印象に残ったのは質問を何回もしていたことです。質問をする人がまず喋り、そこから意見を思いついた人が手を挙げて喋り、まだ分からないところをたくさん質問していました。質問されたことにすぐ答えることができる回答者？さんもすごいし、回答されたことにすぐ「次は〇〇について…」と話題を止めずに進められる質問者？さんも極めて素晴らしいと思いました。

・いつも何もせずに税金を取っているだけの議員さんたちだと思っていただけ、いつも一生懸命市民のために考えて、市議会をして話し合っている市民の安全を守っていることが分かって、ぼくの考えは間違っていたな、と思いました。

・僕が市議会見学で学んだことはいろんな人たちが僕たちのためにいろいろなことを話し合っていたことです。特に心に残ったのは議員さんたちが全員が住民を最優先に考えていたところでした。「優先度は低いけど住民が言うならやろう」「住民を危ない目にあわせてはいけない」など安心できる市だと思いました。

・難しい言葉や内容がたくさんあったけど、少しでも内容がわかるように議員の方々の話を真面目に聞き、分かりやすくメモを取りました。また、議員の方々に質問をしたり、問いに答えているところがとてもスムーズに進んでいて、詰まることがなく分かりやすかったです。

・たくさんさんのえらい大人がいっぱい意見を出していてすごかったです。私たち6年生でも分かりやすかったです。



＜会議室での様子＞



＜傍聴の様子＞

・議員の人たちが市の危険な場所や鉄道、大雨について話し合っていました。その中で心に残ったことは、住民を最優先にすると言っていたことです。住民の避難が遅れるのは避けたいと言っていました。住民に知らせないと何が起きているのかわからなくてパニックになるのでいい言葉だと思いました。

・僕はこれまで議員は税金や災害の後の復興ぐらいいしかやることがない人だと思っていたけど、それ以外に鉄道に関することや戦争のこと、浸水のことなどいろいろ市民のことを考えて凄いいました。

・想像よりは部屋は小さくて、カメラが何個かあったり、前のでつかいパソコンで生放送の動画のカメラを切り替えたりしていました。質問された人ははじめに大体、「ありがとうございます。それにつきましては……」というようなことを言っていて、質問されて「ありがとうございます。」なんて聞いたことがなかったからなんかびっくりました。そして「たしかにそうですね……」と言っていたから、学校での話し合いと規模は違うけどいいしよだなと思いました。

意見書提出要請・要望書

處理結果

1 日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書 …… 議会運営委員会不一致
(議員提出議案第4号へ)

2 最低賃金の引上げ及び中小企業への支援拡充を求める意見書

..... 議会運営委員会不一致

- ・ ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情

…………… 全議員に参考配付

成田 さち

議案の審議結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第39号	令和 6 年度滑川市一般会計補正予算(第 1 号)	総産	原案可決
議案第40号	滑川市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第41号	滑川市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第42号	滑川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第43号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第44号	滑川市工業振興条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第45号	滑川市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第46号	動産の取得について	総	原案可決
議案第47号	滑川市総合計画基本構想及び基本計画の改定について	総	原案可決
議案第48号	地方自治法第 179 条による専決処分の承認を求めることについて 専決第 2 号 令和 5 年度滑川市一般会計補正予算(第 10 号) 専決第 4 号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総産	原案承認
議案第49号	富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	産	原案可決
議員提出議案 第 3 号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議	—	原案可決
議員提出議案 第 4 号	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書	—	原案否決

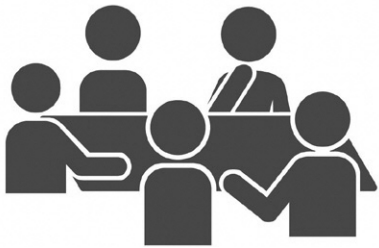
委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

贊否一覽表

議 案	議員名	会 派					会 派 自 民				無 会 派				
		吉森真人	安達真隆	谷崎潤一	青山幸生	竹原正人	高川正樹	原 明	岩城晶巳	中川 勲	水橋真治	大浦豊貴	尾崎照雄	古沢利之	開田晃江
議案第39号から議案第49号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○
議員提出議案第 3 号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○
パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議															
議員提出議案第 4 号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	／	○	●
日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書															

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「／」としています。



9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
9月2日（月）	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
9日（月）	10時	代表、一般質問
10日（火）	10時	一般質問
11日（水）	10時	総務文教消防委員会
12日（木）	10時	産業厚生建設委員会
17日（火）～19日（木）、 24日（火）	10時	決算特別委員会
26日（木）	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

議会議報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見を
お寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 47512120

【議会報編集委員】

高川正樹	委員長	吉森真人	副委員長
谷崎潤一	委員	青山幸生	委員
古沢利之	委員	開田晃江	委員
中川 勲	委員		

議会報告会を開催します

日時 令和6年11月1日（金）
午後7時から（1時間半程度）

場所 滑川市役所 東別館3階 大会議室

議会のことを報告します

皆様と意見交換をします

※発言は希望者のみ

事前予約不要

参加費無料



ご来場をお待ちしております。



会場案内図

【滑川市役所】

西館

入口

東別館

本館

